

大磯の歴史散歩



大磯のこゆるぎの浜と富士山

平塚に来る前、大磯は知らなかった。いや、夏のプール開きの時、大磯ロングビーチはTV等で聞いたが、そこが何処で、どんなプールか？興味もなかった。平塚の隣の駅が大磯であり、湘南から小田原に続く美しいこゆるぎの浜がある。車なら大磯から小田原まで海岸にそって走る西湘バイパスが有名で、使い勝手が良いが、台風の大波でしばしば通行止めになる。今日は藤沢から自転車で大磯の城山公園と吉田茂の旧家を見学したいと思います。片道20km、90分のサイクリングです。

1.アオバトの飛来地

国道1号線の古い松並木を過ぎJR大磯駅に近づく。大磯駅は国道に面していないので道路からは見えない。大磯駅を右手にして反対側の大磯港の海岸に降りる。大磯港から80mほど離れたところにアオバトが海水を飲みに来る照ヶ崎の岩場がある。海岸から50mほど岩場が突き出している。

アオバトは毎回、居るとは限らない。夏の午前中なら、10分に1度、湘南平の山側から飛んできて海の上を巡回しながら岩場に降りる。ドバトと違って長距離飛行が得意だから海の上でも余裕で飛行している。体はオリーブ色に赤い羽根が首筋にある。大勢のカメラマンが狙っている。私も野鳥撮影が趣味だが、じっとして待っているのは苦手、やっぱり運動がてらに撮影するのが私流である。



2.城山公園は三井家の庭園

国道に戻り、二宮方面に自転車を走らせると10分弱で城山公園に到着する。国道の右側に小高い(標高40m)城山公園があり、反対の海側に吉田茂の邸宅がある。自転車を降りて城山公園から散策する。丘の上に展望台があり、ここから相模湾と富士山を望む。とても気持ちが良い。ただし、台風が過ぎた後だったので倒木のために立ち入り禁止があった。公園内にあちこちに旧三井財閥の建物があり、その財力を感じる。今日(9/18)は蒼い夏富士山がよく見える。サルスベリも咲き、セミも鳴き、赤とんぼも舞っている。公園には自販機もなく、静かでのどかな公園である。

この敷地中に大磯町郷土資料館がある。ここは鳥の剥製が充実している。無論、特設アオバトコーナーもあり、初めて間近に見た。土器も沢山ある。ここは縄文時代から人が住んでいた。冬でも温かい湘南の南斜面は人間にとって絶好の越冬地だった。群馬にも縄文時代の遺跡が沢山ある。群馬の月夜野町あたりはさぞ寒かったであろう。

※1大磯城山公園

神奈川県大磯町に位置する神奈川県立の都市公園である。旧三井財閥の別荘跡地を公園として整備した。その後、平成25年に旧吉田茂邸地区一部開園、平成29年に旧吉田茂邸地区全面開園した。



城山公園から富士山を望む初秋の空

3.吉田茂邸の見学

勿論、吉田茂(※2)は写真でしか見たことないが、戦後の教科書に必ずでてくる有名人だ。ここ大磯に居をかまえた。大磯は海、山もあり、且つ東京にも近い一線を退いた政治家(※3)の住宅が沢山あった。鎌倉の文学、芸術とはちょっと違う政治の匂いがする。吉田茂邸の庭と言っても散策ができる広さであり、庭の手入れだけでも膨大な金がかかっただろう。調べると吉田没後、西武鉄道に売却して大磯プリンスホテルの別館として利用された。2004年に県立大磯城山公園の拡大区域として整備するようになった。

※2吉田茂

もとは明治17年（1884）に吉田茂の養父・吉田健三が土地を購入し、別荘を建てたのがはじまりです。養父亡きあと吉田茂が邸宅を引き継ぎました。昭和20年（1945）より大磯の邸宅を本邸とし、晩年を過ごしました。

※3大磯の政治家

明治18(1885)年、松本順が大磯海水浴場を開設した。明治20(1887)年には禰龍館が開館、また大磯駅の開業、鉄道の開通も重なり、保養・療養の目的で大磯に多くの著名人が長期滞在や別荘を建築するようになった。伊藤博文・山県有朋・大隈重信・西園寺公望・寺内正毅・原敬・加藤高明・吉田茂ら。

4.中華料理の名店「滄浪閣（そうろうかく）」

伊藤博文の別邸の滄浪閣は小田原と大磯にある。大磯は夫人の病氣療養のために建てた。その後、1897年（M30）に本籍を東京から大磯に移したので、この地が伊藤博文の本籍となった。没後、西武グループが改装して高級中華料理店として営業していたが2007年に終了した。私の思い出は、会社で中国人のおエライサンが来ると、ここで接待宴会をした。会社にマイクロバスが来て、中国人と役員が乗り込み大磯まで40分あまり走る。当時、平塚地区で中国語をしゃべるのは私だけだった。中国語の勉強になった。ただ、下戸なので乾杯は辛いジュースや烏龍茶のみ。下手に飲める役員は蒸留酒の白酒のカンペイを繰り返し潰れていた。今、自転車で国道から滄浪閣を見るが、取り壊し工事中（※4）のようだ。

※4滄浪閣に1億円の寄付 2020.1.11記事

滄浪閣の地権者だった女性が、大磯町に1億円を寄付した。国や町などは滄浪閣を含む明治時代の元勲ゆかりの地を「明治記念大磯邸園」として一体的整備を進めており、2024年度の全面公開を目指す。綾瀬市の不動産管理会社を経営する女性（82）。

5.血洗川(※5)の露頭

地学の話です。神奈川の地質と岩石の本を購入した。沢山の露頭の写真があり、ワクワクする。リタイヤ後の趣味として県内の地質を勉強がてら訪問するのも良い。但し、マイカーが無いのでそこがネックである。大磯と二宮の境付近の海岸に砂岩の岩場が露出している。これは論文によると2001年の台風15号



西大磯の露頭

により西小磯に出現した露頭である。血洗川（ちあらいがわ）の川底の石の延長として海岸まで伸びている。凝灰岩なので太古の砂、砂利が堆積岩となった。貝やサメの歯も混じっている。この種類の地層は江ノ島以北の稲村ガ崎、逗子マリーナ、三浦半島の海岸で良く見る。しかし江ノ島から小田原まではずっと砂と砂利の海岸であり、大磯の露頭は珍しい。長さ300m幅40mありけっこうデカイ。すぐ上には西湘バイパスが走っている。

※5血洗川

切通しの岩窟中に地蔵があった。縁起によれば、源頼朝が鶴岡八幡宮に参拝した際、狼藉をはたらいた者がおり、梶原景時の子悪太郎景義が疑いをかけられた。この地蔵に帰依していた悪太郎はお参りに来た際に畠山重忠によって討たれた。だが、悪太郎の身体には傷はなく、代わりにこの地蔵が血を流し、その腕も刀傷を受けたかのようにであった。その時に地蔵が流した血を洗ったことにより、この名がついたと言われている。(wikipedia)

ここまでお付き合い下さり、ありがとうございます。

9.今月の季節の食卓

正月料理も終わり、普段の生活に戻っての夕食。月曜日に3合の五穀米を炊く。2人で食べても水曜日の夕方までである。最近は炭水化物の量を減らして栄養素があるものを多くしています。量が食べられないのでおかずから得る炭水化物を増やし、主食を減らしています。カラスウリや水仙は野原からとってきました。和食は健康的で好きです。

2021. no.02 和食と水仙と烏瓜

2021.01.15 藤沢市 増田



サバ塩焼き、小松菜の炒めもの、揚げ出し豆腐、五穀米